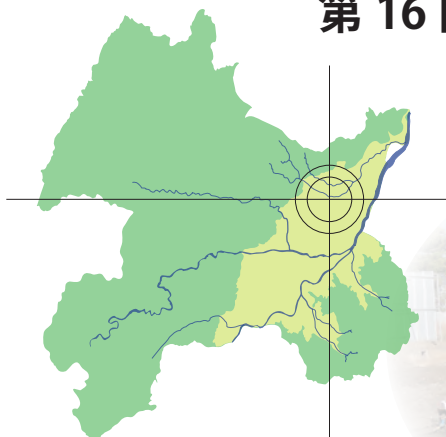


第 16 回 長野市埋蔵文化財センター
発掘調査速報展



よみがえる
原始・古代の
吉田



平成 27 年

2月13日(金) ～ 3月13日(金)

長野市立吉田公民館

3月17日(火) ～ 4月3日(金)

長野市役所 市民ロビー

吉田の遺跡発掘最前線

遺跡の宝庫、吉田地区での発掘調査について、最新の成果を紹介します。

まちひがし 体育館の床下から — 吉田町東遺跡 —

吉田小学校体育館の改築工事にともない、弥生時代から平安時代の集落跡を発掘しました。弥生時代2軒、古墳時代2軒、平安時代4軒の合計8軒の竪穴^{どこう}住居跡や、溝跡・土坑^{せきふ}などが見つっています。縄文時代から平安時代の土器のほか、石斧などが出土しました。

解体した体育館の床下には弥生時代中期（約2000年前）・古墳時代後期（約1400年前）・平安時代（約1100年前）の住居跡などがよく残っていました。



弥生時代の竪穴住居跡です。吉田小の3年生から6年生の皆さんと一緒に発掘しました。ところどころにある炭は木材^{たんかざい}が焼け残った炭化材です。



弥生時代中期の竪穴住居跡です。円形で中央には^ろ炉があります。



古墳時代後期の竪穴住居跡です。弥生時代の住居とは異なり、四角形になっています。写真の左側の壁際からは多くの土器が出土しました。



平安時代の小さな竪穴住居跡です。写真の上側にカマドがあり、たくさんの土器が残っていました。

まきの 桐原を掘る — 桐原牧野遺跡 —

桐原牧野遺跡は桐原一丁目にある遺跡です。古墳時代の竪穴住居が発見されました。そのうちの1軒で地震の痕跡である噴砂^{ふんさ}が観察できました。この地震は古墳時代に発生した可能性が高く、県内ではめずらしい事例です。

黒い砂が斜めに上がって^{ふんさ}いるのが噴砂。



古墳時代の土器がまるまる一個出土しました。

遺跡から見た原始・古代の吉田

縄文時代の住居は丸い形をしています。中には、床に石を敷いている家もあります。



縄文時代

(およそ 4000 年前)

竪穴住居の中央に作られた^ろ炉に埋められていました。^{もんよう}うずまき文様がこの土器の特徴です。



^{いなさく}稲作が始まり、他の地域との交流も活発になります。吉田地区では弥生時代中期から後期にかけて住居跡が多く見つかります。

弥生時代 (およそ 1800 年前)

^{つぼ}壺の下に台がつく、めずらしい形の壺です。^{ほくりく}北陸地方で流行した形をまねて長野盆地で作られました。



古墳時代になると、^ろ炉に変わってカマドが作られます。火力が強く、米を蒸して料理することができるようになりました。

古墳時代 (およそ 1400 年前)

甗 (こしき)

カマドで米を料理するときに使う^む蒸し器です。



^{かま}窯で焼いた^{すえき}須恵器や^{かいゆうとうき}灰釉陶器などが食器として登場します。

奈良・平安時代

(900~1300 年前)

長野県を含む東日本では、平安時代まで多くの人が竪穴住居に住んでいました。





弥生時代のお墓です。木
を箱型に組んだ棺^{ひつぎ}を埋葬
した木棺墓^{もっかんぼ}です。

ほうむ

葬られた人々 (吉田古屋敷遺跡の木棺墓)

木棺墓の中から小型の壺^{つぼ}や鉢
などの土器が出土しました。
その他にも、ガラス玉・鉄の
腕輪なども見つかっています。



45 年前、これまでに誰も見たことのないタイプ
の土器が出土し、発見地にちなんで「吉田式土器」
と名づけられました。

吉田のお宝

(吉田高校グラウンド遺跡の土器・石器)



東北地方にルーツがある土器
の破片と石の矢じり。2000 年
前にも、人々の活発な行き来
がありました。



拡大してみると



ノコギリの歯の
ような文様です。

埋蔵文化財センターについて

遺跡の発掘調査

長野市内には、およそ 1000 箇所の遺跡があります。それらは郷土の歴史を物語る「文化財」であり、むやみに壊すことはできません。しかし、道路や建物の建設のために、やむをえず壊れてしまう場合もあります。そんな場合には、前もって「発掘調査」をします。壊されてしまう遺跡のかわりとして、写真や図面などの記録を残す作業です。その作業をするのが埋蔵文化財センターなのです。



松原遺跡（松代東寺尾）

弥生時代から平安時代の住居跡や溝などが見つかりました。



御所遺跡（中御所）

中世武士の屋敷跡。戦国時代の土器や石うすなどが見つかりました。

ここでは、平成 26 年度に吉田地区以外で実施した発掘調査のようすを紹介しましょう。



善光寺門前町跡

江戸時代の町屋跡。1847（弘化4）年にあった大火の痕跡が見つかりました。

文化財をもっと身近に！

埋蔵文化財センターでは、文化財をより身近に感じていただくため、発掘現場での「現地説明会」、地域の古墳や遺跡を見学する「遺跡見学会」、出土品を展示する「出張展示」「出前講座」を行っています。また「発掘体験」や「勾玉作り」、「火おこし体験」などの体験学習も行っています。学校教育、育成会行事、生涯学習の一環としてもご活用いただけます。どうぞお気軽にご相談ください。



長野市文化財データベース

長野市文化財データベース「デジタル図鑑」では、長野市内の国宝・重要文化財をはじめとした指定文化財や、埋蔵文化財の情報を検索・閲覧することができます。このほかにも展示会や講座等のイベント情報を発信している「ながの文化財ブログ」や、クイズやゲームを楽しみながら文化財を学んでいただける「キッズページ」など、様々なコンテンツをご用意しています。ぜひご覧ください。



※ 詳しくは、「長野市 デジタル図鑑」で検索してください。

長野市 デジタル図鑑

検索

長野市教育委員会文化財課 長野市埋蔵文化財センター

〒381-2212 長野市小島田町 1414（長野市立博物館内）

TEL: 026-284-0004 FAX: 026-284-0106 E-mail: maibun@city.nagano.lg.jp